

# ビオトープだより第64号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人  
日本ビオトープ協会  
<https://www.biotope.gr.jp/>

## 1. クマノザクラその後

技術委員長、主席BA、直木技術事務所 代表 直木 哲

### 技術メモ No6 (2018年5月)

和歌山、三重、奈良県にまたがる地域に、昔からヤマザクラが2度咲くといわれてきた。その早咲きのサクラがクマノザクラで、正式に日本の新種野生種として、1915年のオオシマザクラ以来約100年ぶりに認められたのは2018年である。2018年の技術メモ6に発見者の森林総研勝木敏雄先生の資料を基に特徴など記載した。

その後2019、2021年と現地を訪れ、今年も3月27日と遅い時期であったが、標高の高い奈良県十津川村玉木山登山道付近で樹形の良いクマノザクラを見ることができた。

一方鑑賞価値が高ければ新たな活用が見込めるため、古座川町の樹木医より2018年母樹より種子採取播種の苗木を2021年に100株ほど購入し、千葉県のパールで育てると共に首都圏の集合住宅等に3本ずつ植栽し開花や適応性を観察してきた。



分布域：勝木先生の資料から（技術メモ6に記載）

赤丸が十津川村のクマノザクラ位置付近

### 十津川村の クマノザクラ

道端の1本は薄いピンクが鮮やか、花もやや小さめな美しいクマノザクラである。花数もソメイヨシノほど多くはなく可憐な感じがする。

左下のクマノザクラは法肩で四方から陽を浴びて存在感を感じる大木である。花は白系統で、葉も一部混じる。



### 木更津圃場のクマノザクラ

2021年2月に2018年種子採取の苗木を購入し圃場に植えた。成長するにつれ80%近くが半枝垂れ状態になり、四方に枝が伸びて暴れ、樹形が整わない状態に陥った。そこで2024年7月に高さ1.5mで切断し再萌芽することとした。2025年8月の状態では、再萌芽した枝の半枝垂れは見られず、普通の樹形に戻りつつある。文献によると半枝垂れの樹が出ることは書かれている。このような手間がかかると製品にすることはコストがかかり難しい。その後2019年種子採取の苗木も圃場に植えたが半枝垂れは少ない。母樹による違いのように思われる。



2021年5月：2019年種子採取苗・木更津圃場      2024年7月半枝垂れ      高さ1.5mで切断      2025年8月枝垂れ無し

### 首都圏に植えたクマノザクラ

2018年種子採取苗木の枝垂れがない苗木を5カ所の集合住宅等に3本ずつ寄付して植栽を行った。目的は圃場での観察と並行して、実際の首都圏の植栽地での生育状況を観察し、適応や開花時期などを観察するためである。豊洲のタワーマンションの1本が最も花付きが良く、樹形も素晴らしい。今年は2カ所の新たな開花も観察された。生育の大きい樹の花付きが良い傾向が見られる。ただし2019年採取苗木は小さい樹にも花が見られ、これも母樹によるものかもしれない。まだ継続観察が必要である。

豊洲タワーマンション

樹種・No	樹高 (m)						葉張り (m)						根元径 (mm)					
	2022.05.26	2022.10.26	2023.08.27	2024.11.04	2025.10.03	2026.03.08	2022.05.26	2022.10.26	2023.08.27	2024.11.04	2025.10.03	2026.03.08	2022.05.26	2022.10.26	2023.08.27	2024.11.04	2025.10.03	2026.03.08
No1	1.15	1.40	2.30	2.90	3.20	3.70	0.55	0.80	1.50	2.00	2.70	2.70	9.9	12.6	23.5	49.5	68.0	62.5
No2	1.40	1.60	1.90	2.40	2.40	3.10	1.00	0.60	1.00	1.60	1.80	1.60	12.0	11.5	16.8	30.9	44.2	45.5
No19	1.50	1.70	2.40	2.20	2.80	2.90	0.30	0.40	0.80	0.90	1.00	1.10	9.4	11.1	19.0	24.6	30.4	30.6



2024.11.04葉張り、根元径成長

2025.03.25No2開花約80輪、No2はなし

2026.03.21 No1は充分な満開状況



2026.03.11

木更津圃場で2019年採取苗3本つぼみあり

2018年苗はH1.5m買定後枝垂れない

2018年播種苗4本開花

## 2. ミズアオイ池の環境保全活動

会員 臼澤良一（三陸自然学校大槌 代表）

2026年4月11日開催  
ミズアオイ池の環境保全活動

ミズアオイの花を綺麗に咲かせるには、春先に攪乱作業が必要です。

今年の参加者約30名で、保全活動を実施しました。



夏頃には、素敵な花が咲きます。

《共催団体》  
大槌町教育委員会、  
大槌高校はま研究会、  
特定非営利活動法人日本ピオ  
トープ協会、  
岩手県環境学習交流センター、  
NPO 法人環境環境パートナー  
シップいわて、  
かまいし環境ネットワーク、  
岩手県シェアリングネイチャー  
協会、  
大槌環境保全の会、  
大槌復光社協同組合、  
三陸自然学校大槌【順不同】



攪乱作業



作業前の説明



作業の最後にみんなでパチリ！